

令和7年度札幌SDGs先進企業認証制度 第2期審査結果及び取組概要

令和8年2月27日
札幌市経済観光局



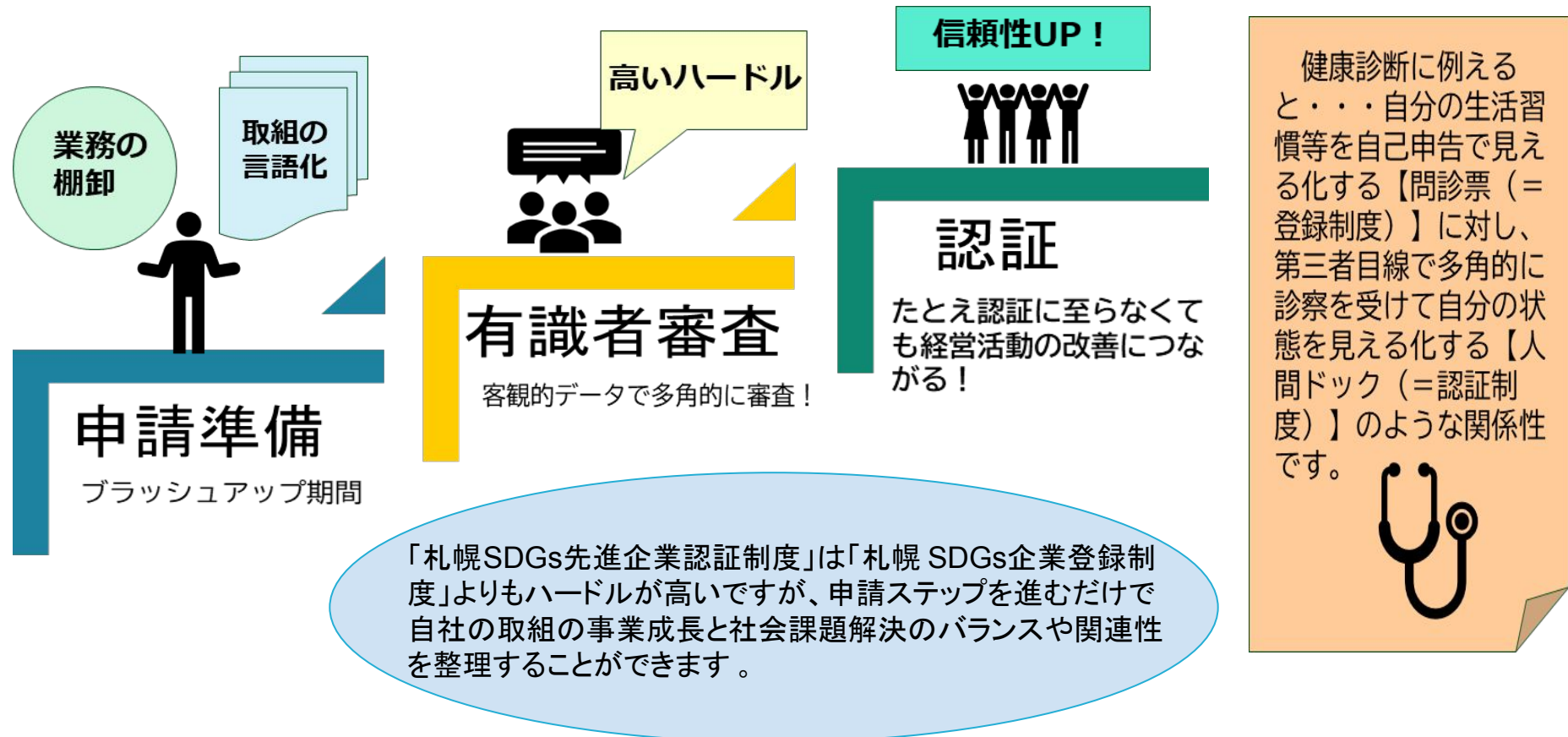


- 札幌SDGs先進企業認証制度の概要
- 第2期SDGs先進企業認証制度の審査結果
- 第2期SDGs先進企業の実践概要
- 第2期SDGs先進企業認証式
- 令和7年度交流イベント「札幌未来共創サミット」開催

札幌SDGs先進企業認証制度の概要



SDGsをビジネスの観点から考え、本業の一環として、社会課題の解決と企業成長の同時実現に取り組む企業を創出し、支援することを目的に、第三者の審査を踏まえ、基準を満たした企業を認証する「札幌SDGs先進企業認証制度」を実施しています。





「札幌SDGs先進企業認証制度」と「札幌 SDGs企業登録制度」の違い

札幌SDGs先進企業認証制度は、並行して実施する札幌 SDGs企業登録制度と比較して、制度の目的や、第三者の審査によって認証企業を選定する点、認証企業数に上限を設けるなどといった点で異なります。

	認証制度 	登録制度 
目的	社会課題の解決により、企業成長を実現する ロールモデルの創出及び支援	SDGs経営の普及啓発
対象企業	札幌市内に本社、支店等の事業所を有し、札幌市内において事業活動を行う法人、個人事業主。	
申請内容	- 経営体制に関するSDGsの取組 - 社会課題の解決と企業成長の同時実現に関する事業活動	- SDGs達成に向けた重点的な取組 - 取組状況チェックリスト
審査	ヒアリング審査と、有識者による審査を踏まえ、基準を満たした企業を認証	申請企業の自己評価により基準を満たした企業を登録
上限数	20社程度/年 ※うち、大企業は5社程度まで	上限なし

札幌SDGs先進企業認証制度の概要



札幌SDGs先進企業認証制度は2期目を迎え、第1期認証企業の取組支援をすすめるとともに、第2期認証企業の申請・審査を実施しました。

第1期先進企業の取組

札幌商工会議所付属専門学校の学生が第1期先進企業を対象に取材を行い、取組に関する記事を作成、9月にプレスリリース、ポータルサイトに公開するとともに記事報告会を実施しました。
11月6日、7日にアクセスサッポロで開催された「北海道ビジネス EXPO2025」に出展しました。

第2期先進企業申請～認証

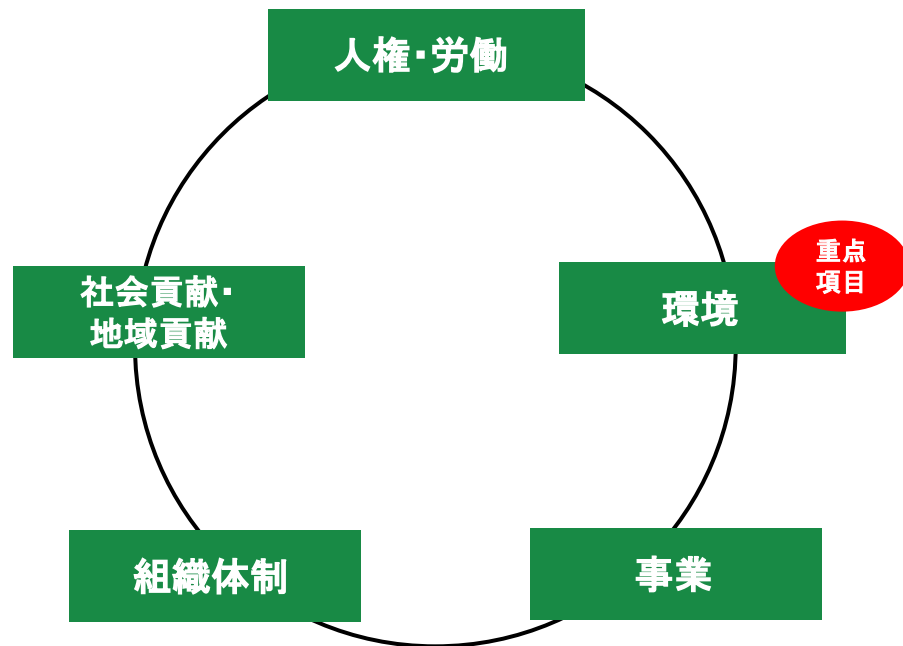
7月から第2期申請を開始、学生取材記事公開に伴い申請期間を延長しました。ヒアリング審査、有識者審査会を経て1月に認証企業が決定しました。
第2期認証企業の認証式及び交流会を2月に実施しました。



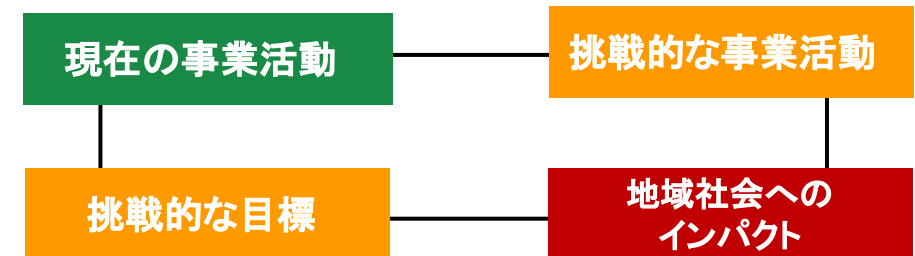


「札幌SDGs先進企業認証制度」の申請内容

経営体制に関する SDGs の取組



社会課題の解決と企業成長の 同時実現に関する事業活動



挑戦的な事業活動とは

以下の両方又はどちらかを満たす取組を指します。

- 申請企業にとって今後新たに実施する予定の取組
- 申請企業が属する業界において先進性 (又は独自性) がある取組

第2期札幌SDGs先進企業認証制度の審査結果



第2期SDGs先進企業認証制度の申請状況と審査結果は以下のとおりです。

申請企業数 7社

認証企業数 5社

認証率 71.4%

企業名	企業規模	業種	事業概要	ページ番号
株式会社クリーンアップ	中小企業	建設業	札幌市内の下水道の維持管理(調査・清掃・補修)及び更生工事	9
株式会社クリオネ	中小企業	医療、福祉	保険調剤業務、在宅訪問業務、市販薬の販売等	10
株式会社ソニック	中小企業	医療、福祉	札幌市内における介護施設、事業所運営	11
ダットジャパン株式会社	中小企業	情報通信業	BPOとソフトウェア開発を軸に展開。近年ではDX推進ソリューションや海外BPO展開、GAME等のエンタメ事業にも手を広げている。	12
リコージャパン株式会社 北海道支社	大企業	卸売業	さまざまな業種におけるお客様の経営課題や業務課題の解決を支援する各種ソリューションの提供	13



第2期札幌SDGs先進企業の取組概要



株式
会社

グリーン☆アップ

株式会社クリーンアップ

主なSDGsゴール

建設業
中小企業

事業概要: 札幌市内の下水道の維持管理(調査・清掃・補修)及び
更生工事



現在の事業活動

- 環境保全に取り組む企業から材料を調達し、環境に配慮した工法で下水道管渠の更生工事を行っている。これにより、温室効果ガスの排出削減に加え、経費や廃棄物の削減にも繋がっている。
- 現場データの共有や書類作成のリモート化など、デジタル化を推進する事で、用紙使用量の削減や廃棄物抑制にも貢献。

挑戦的な事業活動

- 今後更に需要の高まりが見込まれる下水道管渠の更生に対応する為、「健康経営優良法人認定制度」のプライト500の認定を受けて経営体制基盤を強化。
- 最新工法「SPR-SE工法エキスパンドタイプ」を取り入れ、環境負荷を低減。
- 除排雪業務を通じて冬期における地域の道路交通維持と安全確保に貢献。
- 事業プロセスで排出される温室効果ガスの可視化を進め、次世代車両の導入拡大や太陽光発電などの再生可能エネルギー活用も検討し、排出量の一層の削減を目指している。

見込まれる経済効果

環境に配慮した工事や除排雪業務の継続的な取組により、公共工事における企業評価の向上、入札時の元請受注率が高まり受注機会の拡大が見込まれます。
需要増加を見据えた事業体制強化により、施工範囲拡大と売上の増加にもつながる。

社会課題解決に向けた目標

分野		環境
指標		CO2排出量可視化と削減
現状値	2024年	排出量:142t-CO2/年
目標値	2030年	排出量:130t-CO2/年

企業成長に向けた目標

分野		経済
指標		管きよ更生工事年間施工実績実績
現状値	2024年	2,569m/年
目標値	2030年	4,000m/年



第2期札幌SDGs先進企業の取組概要



株式会社クリオネ

主なSDGsゴール

医療、福祉
中小企業

事業概要: 保険調剤業務、在宅訪問業務、市販薬の販売等



現在の事業活動

- OTC医薬品、サプリメント、健康食品の拡充により、単なる処方箋の受け渡し場所としてだけでなく、地域の健康をサポートする身近な存在となっている。
- デジタル技術の活用により処方箋を持参しやすくして、地域の方の処方箋の獲得を推進している。

挑戦的な事業活動

- 健康イベントを実施することにより、薬を受け取るのとは別の目的で薬局に来て貰う。
- 健康相談会などを開催することにより、未病を推進し薬に頼らず健康を維持することに寄与する。
- 色々な医療機関の処方箋をクリオネに持ってきて貰い、薬を一元管理することにより、薬の重複やポリファーマシーを改善する

見込まれる経済効果

- 主たる医療機関の処方箋以外の受付による売上の増加。OTC医薬品、サプリメント、健康食品の販売による多角的経営。特定の医療機関に依存せず、より幅広い患者層からの処方箋に対応することで収益基盤を強化する。
- OTC医薬品、サプリメント、健康食品の販売を通じた多角的経営。処方箋調剤だけでなく、これらの商品を展開することで、薬局のサービス範囲を広げ、新たな収益源を確保し、経営の安定化を図る

社会課題解決に向けた目標

分野		社会
指標		健康イベント・健康相談会の実施
現状値	2024年	実施回数: 3回
目標値	2029年	実施回数: 36回

企業成長に向けた目標

分野		経済
指標		主たる医療機関以外の持参率
現状値	2024年	処方箋持参率: 19%
目標値	2030年	処方箋持参率: 30%



第2期札幌SDGs先進企業の取組概要



株式会社ソニック

主なSDGsゴール

医療、福祉
中小企業

事業概要: 札幌市内における介護施設、事業所運営



現在の事業活動

- 札幌市内9施設における介護施設の運営: 札幌市内に需要の大きい看護小規模多機能型居宅介護事業所(看多機)を併設し、入居率95%以上を確保して、病院、他介護事業所の選択肢拡大に貢献している。
- 事業を社会貢献に結び付けるために看多機の認知度を上げることに尽力: ケアマネやソーシャルワーカーの間でも看多機の認知度が低いため、サービスを広め、知ってもらうための広報活動をしているほか、営業活動により看多機の空室案内や紹介し高い入居率を維持。

挑戦的な事業活動

- 希少価値の高い看護小規模多機能型居宅介護の新規開設: 看多機を必要とする地域のニーズに応えることで、サービスを待つ人にも貢献。
- 人材採用を外部コンサルに委託することで人材確保に力を入れている。
- 介護の現場ではタブレットを使用したペーパーレス化に取り組んでおり、今後は契約書のペーパーレス化を推進を目標としている。

見込まれる経済効果

- 看多機の新規開設等による雇用の拡大、収入増が見込まれる。
- 福利厚生(資格取得のための助成等)の充実により人材の確保、離職率低下が見込まれる。

社会課題解決に向けた目標

分野		社会
指標		契約書類のペーパーレス化
現状値	2024年	0%
目標値	2029年	50%

企業成長に向けた目標

分野		経済
指標		入居者の確保
現状値	2024年	待機者: 5件/年
目標値	2030年	待機者: 10件/年

第2期札幌SDGs先進企業認証制度の結果及び取組概

要



第2期札幌SDGs先進企業の取組概要



ダットジャパン株式会社

主なSDGsゴール

情報通信業
中小企業

事業概要: 札幌市を拠点にBPOとソフトウェア開発を軸に展開。35年以上の開発実績を持ち近年ではDX推進ソリューションや海外BPO展開、GAME等のエンタメ事業にも手を広げている。



現在の事業活動

札幌市および北海道における深刻なIT人材不足や中小企業のDX推進遅れといった地域課題に対し、教育機関と連携したIT業界説明会や職業セミナーの実施、地元企業の業務デジタル化支援に加え、AIを活用したシステムやサイネージの開発、海外研修や多様な人材受け入れBPO業務での雇用創出など、教育・技術・雇用の各面から解決を図っている。さらにアクセシビリティ配慮型UI/UX設計などを通じて技術力・提案力を高め、新規受注や顧客基盤拡大を実現し、社会課題解決と企業成長を同時に推進している。

挑戦的な事業活動

「地域資源×IT」の融合による新たな価値創造に挑戦する。札幌や北海道の地域資源を、サイネージ技術やクラウド配信システムと組み合わせ、国内外に向けて魅力的に情報発信するモデルを構築する。また、地域中小企業を対象に業務効率化ソリューションを提供し、DX導入を後押しするほか、省エネ対策や脱炭素に資するIT支援も推進する。これらのシステム開発後には、国内外の人材を活用したBPO体制によって運用支援を受託し、開発から運用までをワンストップで提供。この開発+運用一体型モデルは業界でも先進的かつ実践的であり、地域経済と企業双方に価値をもたらす挑戦的取り組みとして継続的な発展が期待できる。

見込まれる経済効果

業務効率化支援や人材育成により受託業務の拡大と収益基盤の強化が期待される。社内のリスクリング推進で生産性と品質が向上し、競争力と契約継続率も高まる。また、地域資源×ITモデルによるサイネージやクラウドの外販で新市場を開拓し、事業の多角化と収益安定化を実現。さらに、BPO体制を活用した運用支援までの一貫提供が差別化要素となり、業務拡大と人手不足対応に寄与。働き方改革の推進で人材定着率も高まり、企業成長を支える土台が強化される。

社会課題解決に向けた目標

分野		環境
指標		札幌市内道内BPO雇用創出数
現状値	2024年	37名
目標値	2029年	60名

企業成長に向けた目標

分野		経済
指標		BPO及びサービスの売り上げ高
現状値	2024年	13億円
目標値	2030年	16.5億円



第2期札幌SDGs先進企業の取組概要

RICOH

リコージャパン株式会社 北海道支社

卸売業
大企業

事業概要:さまざまな業種におけるお客様の経営課題や業務課題の解決を支援する各種ソリューションの提供

主なSDGsゴール



現在の事業活動

- DX推進による労働生産性向上と働き方改革支援:
業種・業務別の経営課題に沿った自社および他社ベンダーのソリューションを組み合わせたパッケージを展開する役割として、デジタルサービス推進部を新設し、パッケージ提供数を目標値に掲げ、ソリューションパッケージを拡販し、お客様の業務効率化と生産性向上を実現することで自社のICT事業売上伸長にも繋げている。

挑戦的な事業活動

- ESG経営の実践と推進で社会課題解決に貢献:
従来訪問対応していた機械の実機デモや修理対応をDX推進によりリモート環境で実施可能な体制を整備し、訪問機会の抑制による生産性向上と、CO2削減を目指している。
- 価値共創パートナーと社会課題解決の貢献の輪を広げていく:
社内ESG領域における専門性を有するPro人材を選出し、ESG軸でお客様の課題を顕在化する”サステナ見える化ツール”を展開、お客様を価値共創パートナーとして社会課題解決の貢献する輪を広げ、年間30件の新規顧客開拓および既存顧客の深耕に挑戦。

見込まれる経済効果

- DXを通じお客様の労働生産性向上や働き方改革支援、脱炭素化の実現を支援することにより、お客様との”価値共創パートナー度”の向上、LTV最大化を図り、経営基盤が強化される。
- 社内の生産性を向上させ、イノベーション創出で企業としての競争力が高まる。
- CO2削減や環境への配慮の推進は企業価値向上につながる。

社会課題解決に向けた目標

分野		環境
指標		札幌市内4事業所CO2削減
現状値	2024年	排出量:568.9t-CO2/年
目標値	2030年	排出量:453.2t-CO2/年

企業成長に向けた目標

分野		経済
指標		ソリューションパッケージ実績
現状値	2024年	2,354本(年間)
目標値	2030年	3,531本(年間)

第2期札幌SDGs先進企業認証式

加藤副市長より、第2期札幌SDGs先進企業に認証された5社に認証状の授与が行われました。
先進企業は各1分間のスピーチにより、SDGsの取組について副市長に報告を行いました。



加藤副市長より認証状を授与されたりこージャパン株式会社北海道支社支社長 国松 豊氏



SDGsの取組についてスピーチを行う株式会社クリオネ 木村 礼志氏



第2期札幌SDGs先進企業と加藤副市長、坂井経済観光局長の集合写真



令和7年度交流イベント「札幌未来共創サミット」開催

第1期、第2期先進企業と札幌未来牽引企業19社が終結し、「札幌未来共創サミット」を開催しました。第2期先進企業によるビジネスピッチをはじめ、各企業の講演やトークセッション、13社による企業ブース出展・交流会を行いました。ハイブリット（現地+オンライン）開催となり、多くの参加者に先進企業の取組をPR、共有することができました。



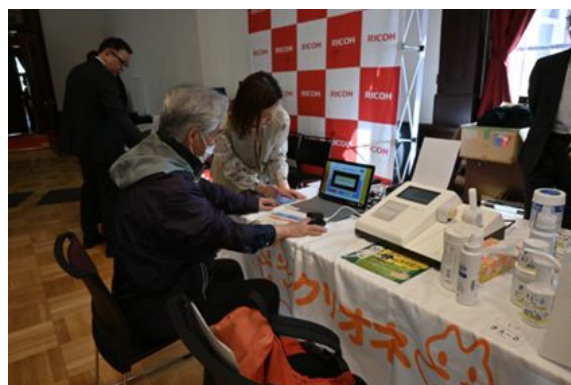
札幌市経済観光局長による主催者説明・事業紹介



ダットジャパン株式会社による先進企業ビジネスピッチの様子



株式会社クリーンアップのブース



株式会社クリオネのブース



第1期認証企業株式会社テイクアンドギブ・ニーズと交流する株式会社ソニック



リコージャパン株式会社北海道支社のブース